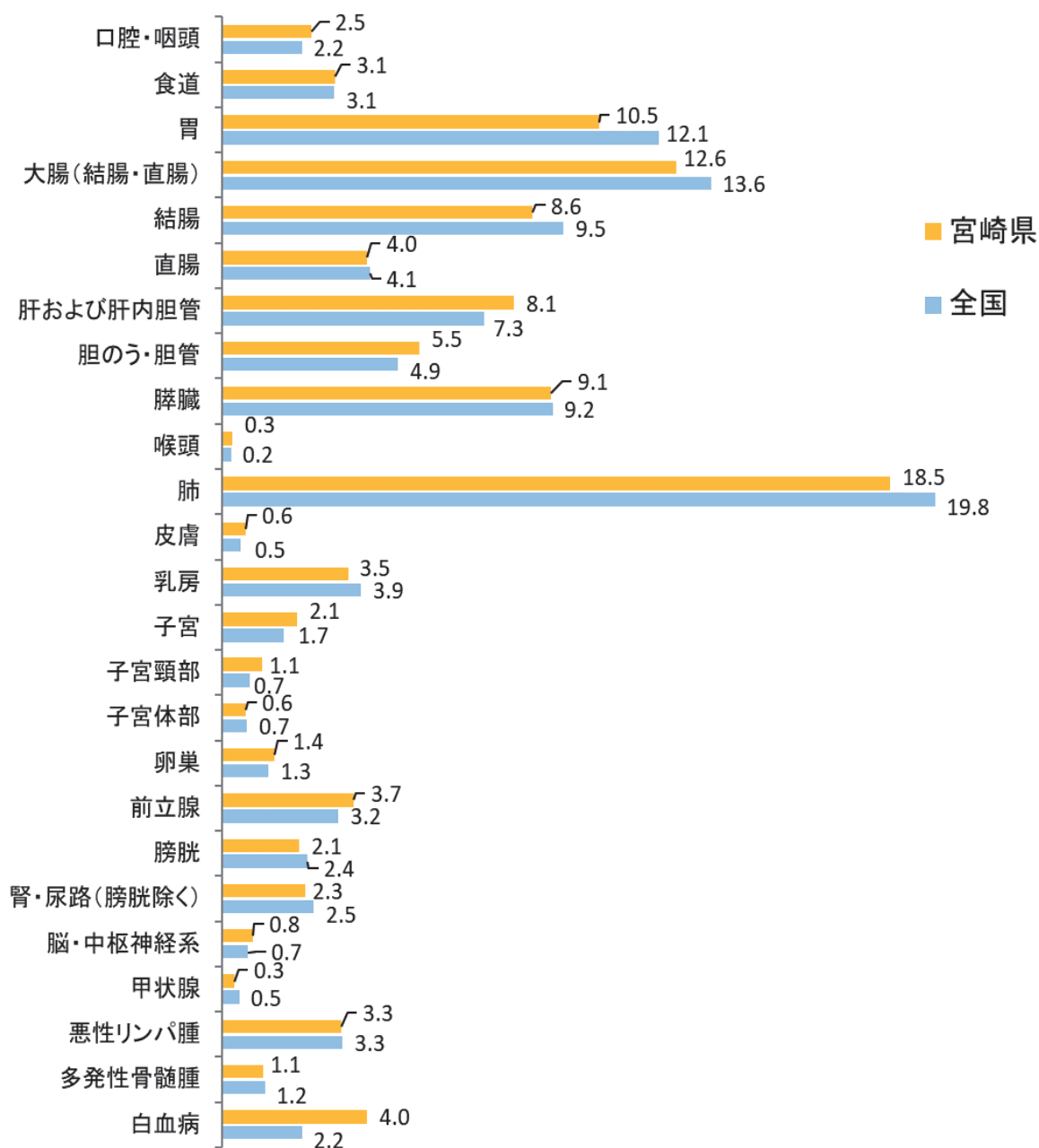


5 2017年がん死亡の概要

(1) 全体の概要 : 表9から作成

2017年宮崎県において、がんによる死亡は、男性2,056人、女性1,502人の合計3,558人であった。割合が高い部位は肺18.5%であり、大腸(結腸・直腸)12.6%、胃10.5%と続く。件数で見ると、男性では肺477件、大腸(結腸・直腸)231件、胃221件が上位を占めており、前立腺は130件であった。女性では大腸(結腸・直腸)218件、肺183件、膵臓181件が上位を占めており、乳房は124件であった。

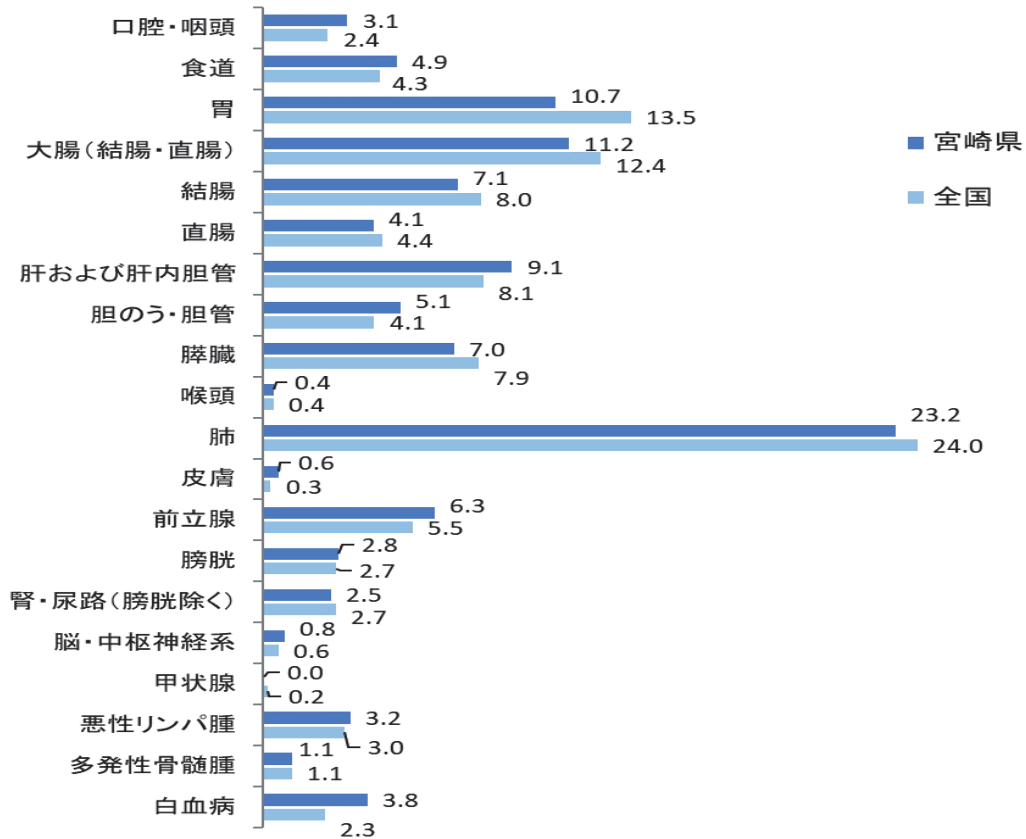
2017年死亡部位割合(%) (全国比較)



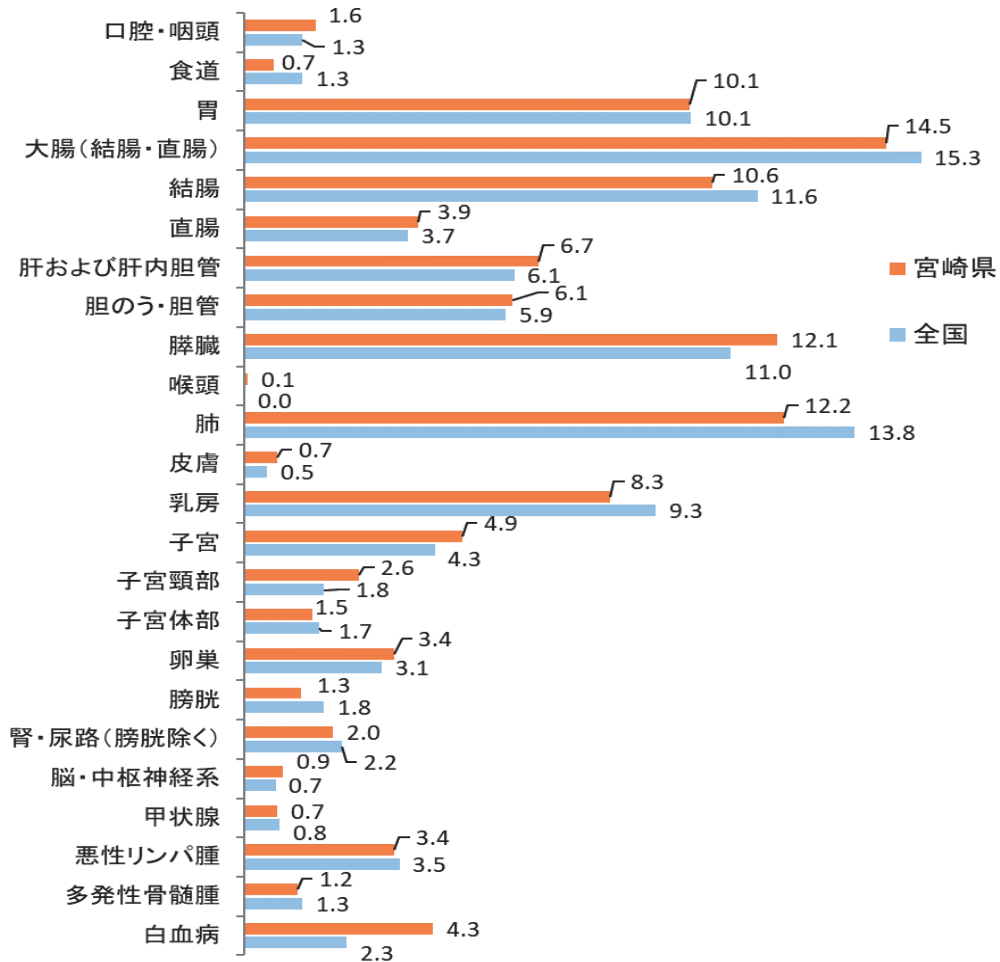
出典：全国値は、公益財団法人 がん研究振興財団 「がんの統計'18」

2. ICD-10 三桁分類別がん死亡(死亡数・割合) (2017年) から抜粋

男性 死亡部位割合(%) (全国比較)



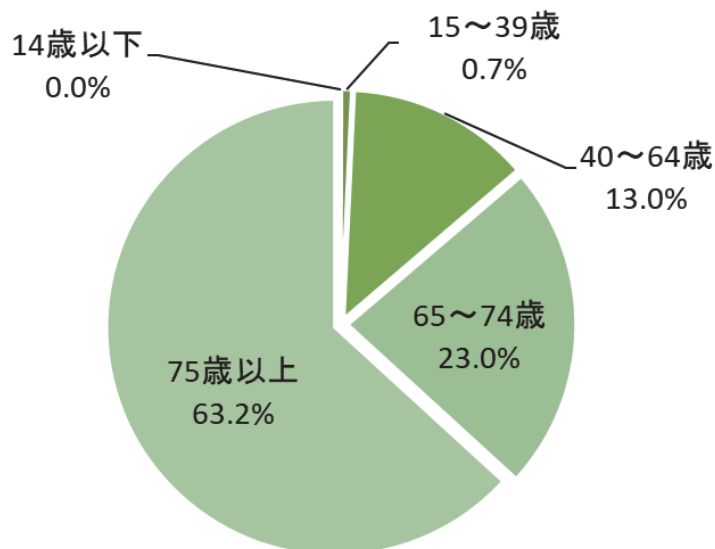
女性 死亡部位割合(%) (全国比較)



(2) 年齢階級別に見たがんの死亡 : 表 10 から作成

年齢階級別に見ると、75歳以上の割合は63.2%、65歳から74歳23.0%であった。男性では、75歳以上が59.4%、女性では68.4%であった。部位別に見ると55歳から胃、大腸(結腸・直腸)、膵臓、肺の件数が多くなっており、60歳からは肝および肝内胆管も増加している。

全体(件)	
14歳以下	1
15～39歳	25
40～64歳	463
65～74歳	820
75歳以上	2,249
合計	3,558



男性(件)	
14歳以下	1
15～39歳	12
40～64歳	255
65～74歳	566
75歳以上	1,222
合計	2,056

女性(件)	
14歳以下	0
15～39歳	13
40～64歳	208
65～74歳	254
75歳以上	1,027
合計	1,502

